



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.36 / 2009 年 6 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第 36 号をお届けします。
今回は、新執行部の挨拶と 2009 年ソサイエティ大会シンポジウムについてのお知らせです。

【1】AP 研委員長就任の挨拶(伊藤先生)

平成 21~22 年度のアンテナ・伝播研究専門委員会委員長を拝命しました、千葉大学の伊藤公一です。まずはこの2年間、堀 俊和先生を委員長とする AP 研執行部の献身的なご尽力に心から感謝申し上げます。

AP 研は 40 年を超える歴史と伝統を有し、また、そのアクティビティは高く評価されています。新委員長として、責任の重さを認識するとともに、皆様と一緒に研究会活動を継続し、健全なる発展に努めたいと考えています。中でも、次の2点については積極的に取り組む所存です。

1つめは、更なる国際化の推進です。特にアジア地域において、本学会の果たす役割はますます重要になりつつあります。すでに ISAP のアジア展開や AP 研等の海外開催、さらには国内における AP 研・大会での外国人の研究発表が行われていますが、研究発表だけでなく AP 研の運営等においても積極的にアジア地域から参加して頂くとともに、アジアで開催される ISAP や他の国際会議における AP 研関係者の貢献度をさらに高め、世界に通用する人材の育成にも寄与したいと思えます。

2つめは、いわゆる「異業種交流」の更なる推進です。言うまでもなくアンテナ・伝播技術は通信・放送のみならず、他の産業界や健康・医療分野等にとっても重要な基盤技術です。しかし、これら異分野の研究者・技術者との交流はそれほど多くないのが現状です。関連する他学会や諸機関との協力を積極的に図るとともに、技術交流を進め、AP 研のプレゼンスをさらに高めたいと思えます。

2 年間、新執行部のメンバとともにお世話になりますが、宜しくお願い申し上げます。

【2】AP 研幹事就任の挨拶(広川先生)

このたび、幹事を拝命いたしました。まだ、分からないことがほとんどですので、最初1年間は前任幹事の陳先生の御意のままに働かせていただきたいと思います。また、伊藤先生のご方針のもと、後にもつながる企画を1つでも行うことができればと考えております。皆様には、ご協力をいろいろと願うことになるかと存じますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

【3】AP 研副委員長の挨拶(正源)

6 月からアンテナ・伝播研究専門委員会副委員長を仰せつかりました正源です。副委員長として本お知らせの欄を担当します。堀先生と牧野先生の後を継ぐことに大いなるプレッシャーを感じています。ご両人とも産業界経験をバックグラウンドに持っており、私も負けずに頑張ろうと思えます。「rot(黒潮)=美人」の式の信憑性について考察をしるとの課題を与えられています。重い課題であり、思うところは

ありますが直ぐには発表できるほどではなく、考察を深めたいと思います。それでも力が及ばず任期を終えたときは、無事に次の副委員長に引き継ぎたいと思っています。

これまで、AP 研には、研究会、ISAP など育てていただきました。これからは研究会、特に懇親会には可能な限り出席したいと思います。仕事柄、研究ではありませんが外国へ行く機会があり、特にアジア方面の国には数多く訪問しています。伊藤委員長を補佐し、伊藤委員長のアジア地域への展開の方針に、私の経験を生かして多少なりとも貢献したいと思っています。

AP 研は伝統のある研究会であり、これまでの財産を新しい人に引き継いでいきたいと思っています。2年間、皆様にはお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【4】2009年ソサイエティ大会シンポジウム(投稿募集のご案内)

9月15日(火)～18日(金)に新潟大学で2009年ソサイエティ大会が開催されます。毎回、ホットなトピックスを取り上げ、その分野の一線で活躍されている研究者の研究発表を提供することで、皆様に好評をいただいているAP研企画のシンポジウムセッションですが、今度の大会では、近年、電磁波の話題を独占し、世界中で急速にその分野における研究者を増やしている「メタマテリアル」のテーマを取り上げます。

メタマテリアルは、伝送線路内を伝わる電磁波の伝搬定数を制御可能であるという興味深い特性を有するため、各方面で脚光を浴びており、その現象確認のための研究が多くなされてきました。しかし、その一方で実用化が期待され、様々な応用への検討が進められています。アンテナはメタマテリアル応用の有力な候補の一つであり、アンテナの小形化や指向性の設計自由度が向上するといった、アンテナの普遍的な課題が解決できることが期待されている夢の研究テーマです。しかし、実用化においては、損失が大きいことや、動作周波数帯域幅が狭いことなどが問題となっています。

本シンポジウムでは、メタマテリアル技術のアンテナへの応用に関する論文を多方面から集め、その可能性と実用性について議論します。非常にホットなトピックスですので、アンテナ・電磁波分野の研究者、必見です。多数の来場者が見込まれます。皆様もどうぞご投稿、会場へお越し頂き、活発な議論をお願いいたします。

記

- シンポジウムセッション：メタマテリアルアンテナ
- オーガナイザ：榊原久二男（名工大）
- 講演登録・原稿の締切：2009年7月8日(水)17:00

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義(NHK)

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET: AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP: <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

